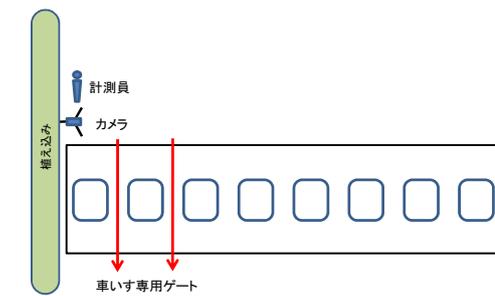


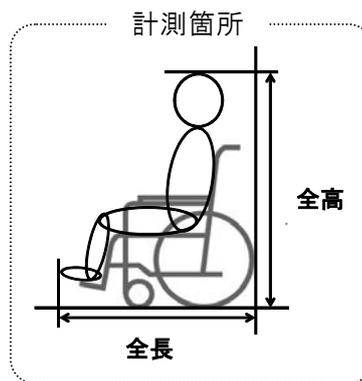
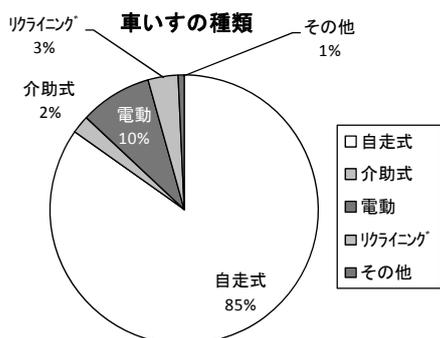
ユニバーサルデザインタクシーの開発に当たっては、車いすを使用する乗客であっても快適に乗り込めるようなドア開口部の高さ、幅、床面高さ等を定めるため、車いす使用者の全高や全長について把握する必要があります。そのため、東京モーターショーに来場した車いす使用者の方に寸法計測にご協力いただき、データを収集しました。

- 調査日：平成21年10月22日(第41回東京モーターショー 車いす利用者特別見学日)
- 場所：幕張メッセ 国際展示場(西ゲート)
- 調査方法：東京モーターショーの入場ゲート脇にカメラを設置し、通過する車いす使用者の映像を記録して寸法を計測

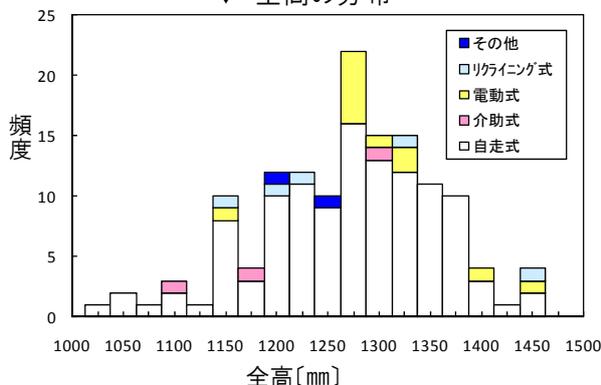


- 調査結果：
(140人の車いす使用者の方にご協力いただきました)

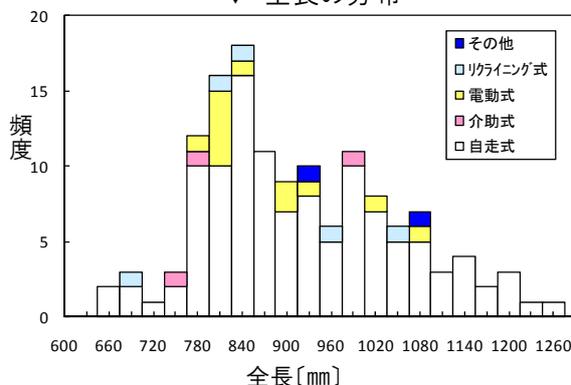
▼ 計測した車いすの種類 (140人)



▼ 全高の分布



▼ 全長の分布



※ 調査結果の詳細は、「地域のニーズに応じたバス・タクシーに係るバリアフリー車両の開発報告書(平成22年3月版)」に掲載しております。ぜひこちらをご覧ください。